

**2016年度(2017年3月期)
第3四半期決算説明会**

2017年1月26日

株式会社アドバンテスト

ご注意

◆会計基準について

本プレゼンテーション資料に記載されている実績や見通し数値は、国際会計基準(IFRS)に基づいて作成しています。

◆将来の見通しに関する記述について

本プレゼンテーション資料およびアドバンテスト代表者が口頭にて提供する情報には、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれています。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているもの又は暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されています。

ADVANTEST.

2016年度第3四半期 決算報告

取締役 兼 常務執行役員
中村 弘志

業績概要

(億円)

	2015年度 3Q	2016年度 1Q	2016年度 2Q	2016年度 3Q	前期比		前年同期比	
					増減額	増減率	増減額	増減率
受注高	398	438	285	440	+155	+54.3%	+42	+10.5%
売上高	299	407	355	314	-42	-11.7%	+15	+5.0%
売上総利益	180	253	210	181	-30	-14.3%	+1	+0.5%
売上総利益率	60.2%	62.2%	59.3%	57.6%	-1.7pts		-2.6pts	
営業利益	-2	57	26	10	-16	-62.3%	+12	-
営業利益率	-0.7%	14.1%	7.3%	3.1%	-4.2pts		+3.8pts	
税引前四半期利益	3	62	29	6	-23	-78.5%	+3	+85.6%
四半期利益	-3	50	23	1	-22	-95.1%	+4	-
四半期利益率	-1.0%	12.2%	6.4%	0.4%	-6.0pts		+1.4pts	
受注残	388	365	295	422	+126	+42.8%	+34	+8.7%
為替レート	1米ドル	121円	111円	104円	105円	1円 円安	16円 円高	
	1ユーロ	134円	124円	116円	115円	1円 円高	19円 円高	

ADVANTEST.

2017/1/26

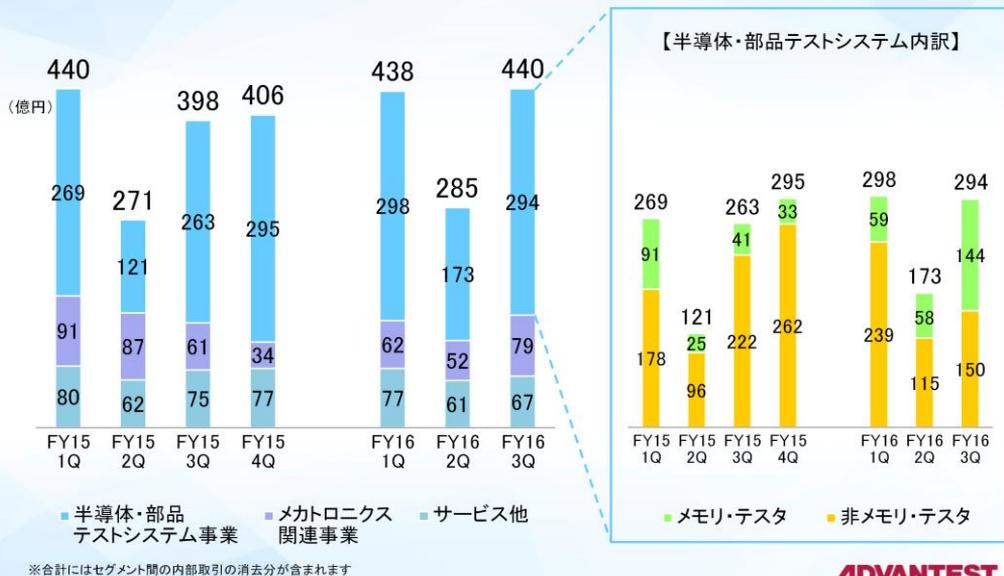
All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

4

○ 2016年度第3四半期の業績概要

- 受注高 440億円 前期比 54.3%増
- 売上高 314億円 前期比 11.7%減
- 売上総利益 181億円 前期比 14.3%減
- 営業利益 10億円 前期比 62.3%減
- 税引前四半期利益 6億円 前期比 78.5%減
- 四半期利益 1億円 前期比 95.1%減
- 前年同期比では全てプラス
- 前期比では非メモリ・テストの売上減を受け利益が落ち込んだものの、四半期黒字を確保
- 受注残 422億円 前期比 42.8%増
4Q以降の売上回復に向け、弾みとなる

四半期受注高 事業セグメント別



ADVANTEST.

2017/1/26

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

5

○ 2016年度第3四半期のセグメント別受注高

○ 半導体・部品テストシステム事業

- ・ 前期比 71%増 294億円
うち非メモリ・テストは 150億円 と、落ち込んだ前期から回復
メモリ・テストは 144億円 と、前期から大きく増加
- ・ 非メモリ・テストは、スマートフォン関連の受注が回復したもの
- ・ メモリ・テストは、大手メーカーの設備投資意欲を受け、メモリの各セグメントとも受注を獲得

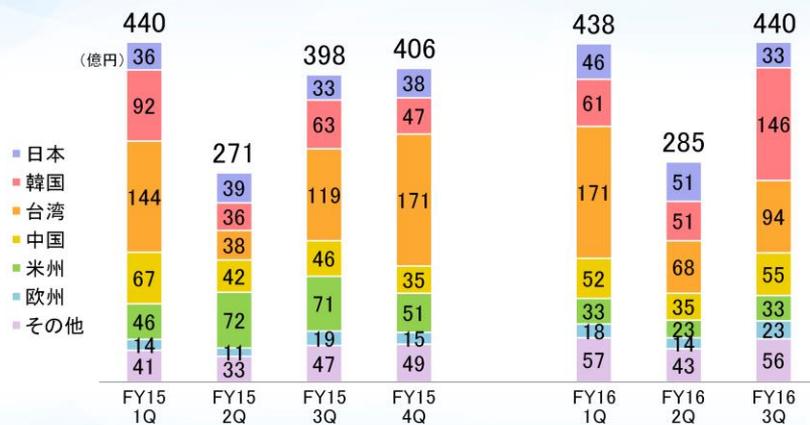
○ メカトロニクス関連事業

- ・ 前期比 52%増 79億円
- ・ メモリ・テスト受注増と連動し、デバイス・インタフェース受注が伸びた

○ サービス他

- ・ 前期比 9%増 67億円

四半期受注高 地域(出荷先)別



ADVANTEST.

2017/1/26

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

6

○ 2016年度第3四半期の地域別受注高

- ・ 前期比で変動が大きかった地域

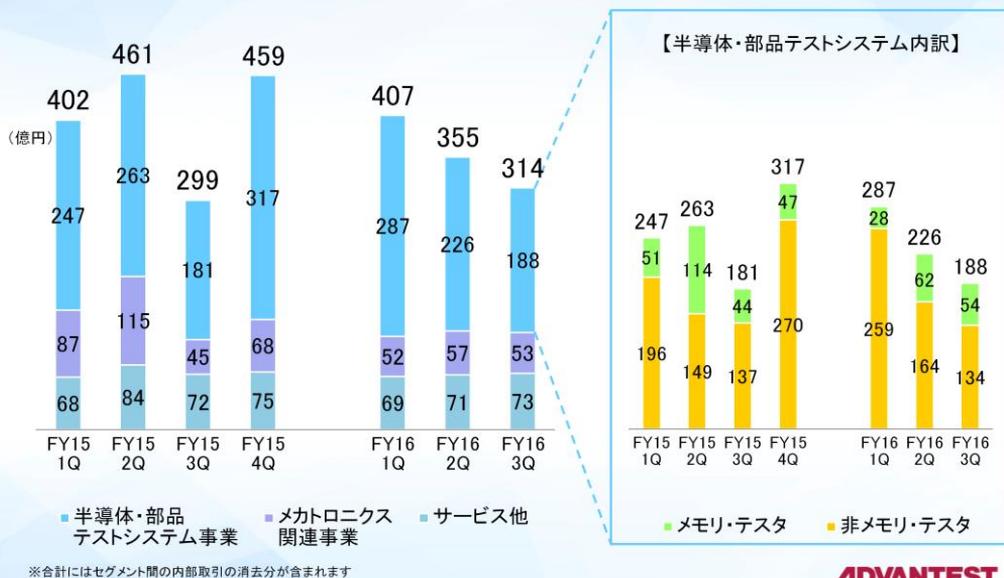
韓国

韓国市場のメモリ・テスト需要が伸び、前期比3倍となった

台湾、中国

スマートフォン関連で非メモリ・テスト需要が回復

四半期売上高 事業セグメント別



ADVANTEST.

2017/1/26

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

7

○ 2016年度第3四半期のセグメント別売上高

○ 半導体・部品テストシステム事業

- 前期比 17%減 188億円
うち非メモリ・テスタは 134億円
メモリ・テスタは 54億円
- 非メモリ・テスタは、季節性による2Qの受注減少を反映した売上減
- メモリ・テスタで3Qに受けた大型商談は、4Q以降の売上計上を予定

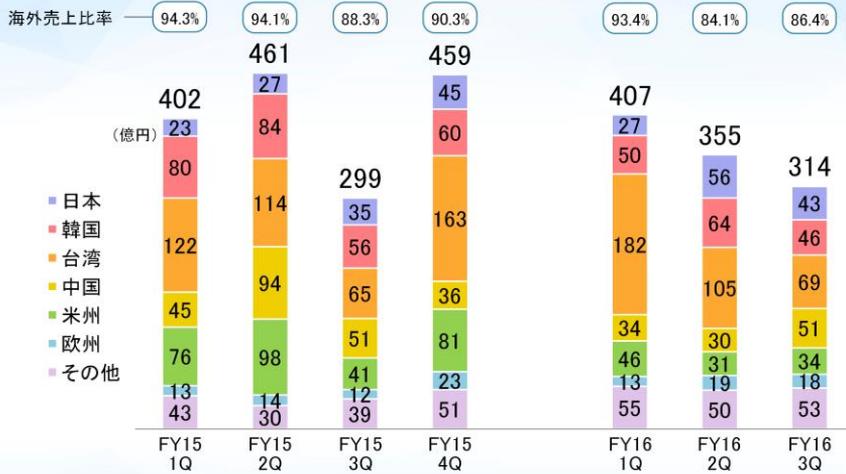
○ メカトロニクス関連事業

- 前期比 7%減 53億円

○ サービス他

- 前期並み 73億円

四半期売上高 地域(出荷先)別



ADVANTEST.

2017/1/26

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

8

○ 2016年度第3四半期の地域別売上高

- ・ 前期比で変動が大きかった地域

台湾

スマートフォン関連が季節性の減少

韓国

DRAM向けの高速テスト売上が減少

中国

ミドルレンジ以下のスマートフォン関連のテスト需要が伸びた

これらの結果、海外売上比率 86.4%

売上高/売上総利益/営業利益



ADVANTEST.

2017/1/26

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

9

○ 2016年度第三四半期の営業利益

- 売上総利益
 前期比 30億円減 181億円
- 売上総利益率
 前期比 1.7ポイント悪化 57.6%
 非メモリ・テストの売上構成比が落ち込んだ
- 販管費等
 前期比 14億円減 171億円
 賞与引当金の減少などによるもの
- 営業利益
 前期比 16億円減 10億円
- 営業利益率
 前期比 4.2ポイント悪化 3.1%

研究開発費/設備投資/減価償却費



ADVANTEST.

2017/1/26

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

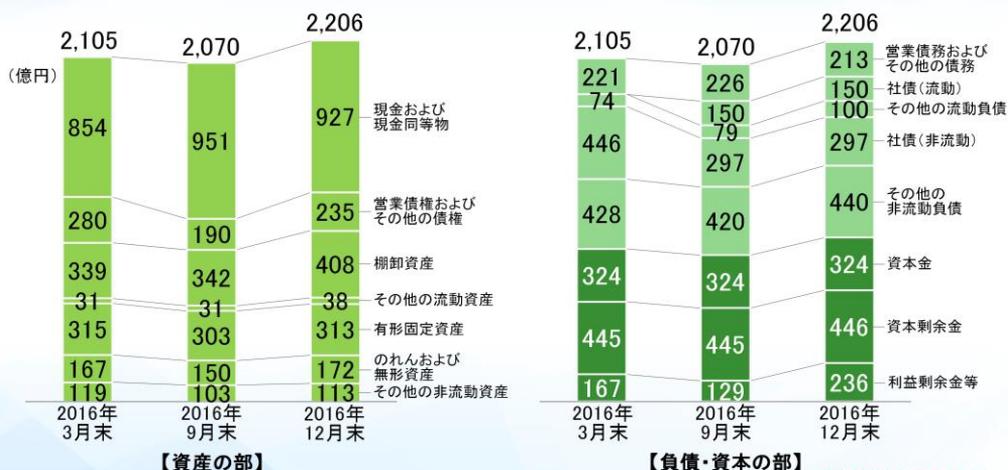
10

○ 2016年度第3四半期の研究開発費等

- 研究開発費 69億円
- 設備投資 11億円
- 減価償却費 11億円

バランス・シート

親会社の所有者に 帰属する持分	936	898	1,006
親会社所有者 帰属持分比率	44.5%	43.4%	45.6%



ADVANTEST.

○ 2016年12月末時点のバランス・シート

- ・ バランス・シート構成に大きな変化無し
- ・ 親会社の所有者に帰属する持分 1,006億円
- ・ 親会社所有者帰属持分比率
前期末比 2.2ポイント増 45.6%

2016年度事業見通し

代表取締役 兼 執行役員社長
吉田 芳明

2016年度業績予想

(億円)

	2015年度 実績	2016年度 予想 (10月時点)	2016年度 予想 (1月時点)	前年度比 増減額	前年度比 増減率
受注高	1,515	1,580	1,600	+85	+5.6%
受注残	335	355	355	+20	+6.0%
売上高	1,621	1,560	1,580	-41	-2.5%
半導体・部品テストシステム事業	1,008	1,005	1,020	+12	+1.2%
メカトロニクス関連事業	315	260	270	-45	-14.2%
サービス他	299	295	290	-9	-3.1%
営業利益	126	145	160	+34	+27.0%
営業利益率	7.8%	9.3%	10.1%	+2.3pts	
税引前当期利益	118	153	165	+47	+40.2%
当期利益	67	120	130	+63	+94.2%
当期利益率	4.1%	7.7%	8.2%	+4.1pts	
1株当たり年間配当金	20円	22円	23円	3円 増配	

✓ FY16 4Q為替前提: 1米ドル:110円、1ユーロ:120円

*10月時点予想の前提レート: 1米ドル:100円、1ユーロ:110円

*2015年度実績: 1米ドル:121円、1ユーロ:133円

※売上高合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

ADVANTEST.

2017/1/26

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

13

○ 2016年度の業績予想について

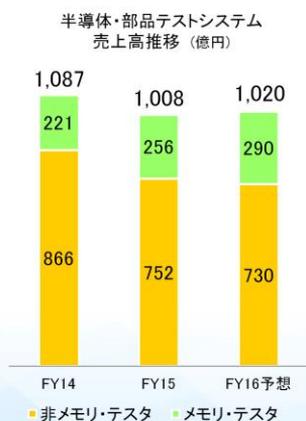
- まず通期の業績予想について。
- 為替前提は、足元の為替の状況を踏まえ、4Qは1米ドル=110円、1ユーロ=120円という見方に変更します。
- 前提レートの変更、足元の商談進捗から、2016年度の業績予想を
 - 受注高 1,600億円
 - 売上高 1,580億円
 - 営業利益 160億円
 - 当期利益 130億円

とします。

- 配当につきましては、当期利益の見通しから
年間で23円を予定しており、前年度と比べて3円の増配となる予定です。

各セグメントの今後の見通し

■ 半導体・部品テストシステム



非メモリ・テスタ事業

- ✓高機能化する中国ブランドのスマートフォンが引き続き中核的な需要源
- ✓市場環境は想定線で推移しており4Qは受注・売上とも3Q比増を見込む

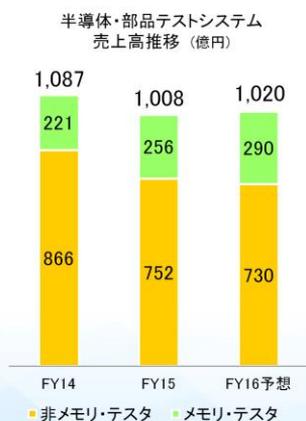
ADVANTEST.

○ 半導体・部品テストシステム事業の見通しについて

- まず非メモリ・テスタについて。
- 第4四半期の市場環境ですが、高機能化めざましい中国ブランドのスマートフォンの成長が、非メモリ・テスタの需要を牽引する構造が続きます。
- その中国スマートフォン市場が当社の想定線で推移しているなか、非メモリ・テスタの今期の売上予想は 730億円 とします。
- 非メモリ・テスタの受注は2Qが、売上は3Qが底となる、という見通しに変更ありません。
4Qは、3Q比で受注も売上も伸びる見通しです。
- 来年度に向けて、大型LCDパネル、有機ELパネル向けのビジネスも動き出しました。

各セグメントの今後の見通し

■ 半導体・部品テストシステム



メモリ・テスト事業

- ✓ NAND: 3D NAND量産拡大を背景に
来年度にまたがる需要を見込む
- ✓ DRAM: 供給能力増強などの動きを受け
持続的なテスト投資が進展
- ✓ 市場環境の想定以上の良化を反映し
今期売上見通しを上方修正

ADVANTEST.

○ 半導体・部品テストシステム事業の見通しについて

- ・ 次にメモリ・テスト市場についてです。
- ・ NAND向けについては、3D NAND用の新量産ライン立ち上げに沿って、今年度末から来年度にまたがる、継続的な需要を見込んでいます。
- ・ DRAM向けについては、DRAMの供給不足、大容量化、高品質要求を受けて、テストに対しては、前工程・後工程とも、こちらも今年度にとどまらない、持続的な投資があると見ています。
- ・ これらが合わさり、事業環境は想定以上に良くなっています。メモリ・テストの今期売上見通しは、16年度期初の予想からプラス 50億円となります。

各セグメントの今後の見通し

メカトロニクス関連 売上高推移 (億円)



■ メカトロニクス関連

✓メモリ・テスト需要の伸びに伴い、デバイス・インタフェース事業も4Qに売上伸長

サービス他 売上高推移 (億円)



■ サービス他

✓実需は堅調だが円高影響により前年度並みの売上高を予想

ADVANTEST.

○ メカトロニクス関連、サービス他事業の見通しについて

- メカトロニクス事業の今期の売上予想は 270億円 です。
- デバイス・インタフェース事業が、メモリ・テストの需要の伸びに伴ってこれから売上を伸ばす見通しです。
- サービス他事業の今期の売上予想は 290億円 です。
- フィールドサービスの実需は堅調ですが、円高による減収影響もあります。その結果、セグメントとしては前年度並みの売上高を予想しています。